



株式会社 城南村田 かわら版

2014年 2月号

蒲田交信局



いつも大変お世話になっております。営業部、受注をメインに担当しています、浅野 和也と申します。電話で「声は聞いたことがある」と言う方もいらっしゃるかもしれません。

この度はかわら版“蒲田交信局”にて、毎月皆様に我々の近況・その他諸々を報告させて頂く事となりましたので、宜しくお願い致します。

私は1974年（昭和49年）10月30日生まれ、蠍座O型。偶然発覚したのですが、社内に同じ誕生日の後輩が居ました！（年は一回り以上、下ですが）。若手若手と言われつつ、もうすぐ40才目前の中堅所になっていました。家族は妻、娘3人の5人家族です。家族の中で男一人という、弱い立場に将来が早くも心配です。一番下の娘は去年の6月に誕生したばかりで、毎日夜泣きに悩まされています。

一番上の娘は4月から小学3年生、真ん中の娘が4月から小学校に入学！お姉ちゃんの後をくっついて歩いていたものと思っていたのに、月日が流れるのは早いものです。

出身は神奈川県横浜市。私自身はずっと横浜育ちですが、両親共に高知県出身です。土佐の血が流れているからでしょうか、数年前に放映された大河ドラマ「龍馬伝」。すっかりはまってしまいました。ちょうど放映時期に高知の田舎に帰る事が有り、桂浜の砂浜の上で海を見ながら、坂本龍馬の気分でした。影響を受けやすいのか、司馬遼太郎の「龍馬がゆく」をすぐに揃えてしまいました。

各界の著名人・有名人の中にも、この本に影響を受けた方が多くいらっしゃるようです。その仲間入りするにはもう少し、まだまだ…、かなり、長い時間がかかりそうです。

趣味は、ジョギング。と、周りには言っていますが、最近では寒さのせいで全く走っていません…。気持ちは有るのですが。マラソンの大会もあちらこちらで行われ、走るのは冬が本番だとは分かっているのですが、これも南国・土佐の家系だと思われれます。（自分に言い訳！？）でも、心はランナーです！高知出身の親ですが、二人共健在、もうすぐ80才ですが、孫の顔見て喜んでくれています。

次回以降も、様々な話題を皆様にご報告したいと思います。今後共よろしくお願い致します。



株式会社 城南村田 かわら版

2014年 2月号

蒲田交信局



いつもお世話になります。城南村田の青沼隆宏です。先月の自己紹介では紙面が足りなくなり家族の紹介まで出来ませんでした。しかし、今月は家族との思い出です（毎回何を書くのかは決められています）。さて、家族との思い出ですが、思い出されるのは那須です。毎年夏に家族で旅行に行きました。両親がテニスをやっていたのでテニス合宿です。我々子供たち（私と妹）はテニスをやったりプールで遊んだり、カブトムシやクワガタを捕まえに行ったり・・・那珂川のやなで食べる鮎の塩焼きは絶品でした。川遊びをし、お昼には塩焼きを食べました。その頃から釣り好きだった私はもちろん釣竿持参です。へたれな私に釣れてくれる酔狂な魚はあまりいませんでしたが。

朝早く起きては虫取り。その後テニスの練習。暑くなるとプール。飽きるとまたテニス。フィールドアスレチックもあり遊びには事欠かなかった気がします。そういえば近く山羊が居て、山羊をからかって遊んでいたら追い回されてあの小さな角でつつかれ逃げ惑ったこともありました。夜はナイターテニス（虫捕りを兼ねて）と花火。そのホテルは犬を複数飼っていて、犬たちと遊ぶのも大好きでした。子犬を部屋に入れて一緒に寝たこともありました。初めてミヤマクワガタを捕まえたのも那須でした。ミヤマクワガタはいまだに飼育したい虫 No1 です。唯一の不満は釣りに行くには車を出してもらわなければならなかったこと。本当は毎日釣りをしていたかったのに、旅行中に 1-2 度しか釣りにいけないことです。

こんな事を思い出しながら書いていると、真っ黒に日焼けした肌、那須の夏の日差しや草花のにおい、かげろうのような東北自動車道の渋滞、子犬の乳臭いにおいなどをリアルに思い出します。いい時代だった気がします。あの当時（1970年代）の日本は今の中国のように、環境を汚染しながら成長していました。もちろん、小学生の私には環境汚染や経済成長は関係なかったと思います。でも、当時感じたにおいや日差し・風景はまぎれも無く成長している国の姿だったと感じます。公私共に過ぎ去った夢のような時代だから美化しているのかもしれませんが。

私の子供たちは 30 年後に何を思い出し感じるのでしょうか。